

メイプル通信 Maple NEWSLETTER

福岡カナダ協会広報誌

Fukuoka
Canada
Society

2000.4

今回はカナダ・アルバータ州をご紹介します。

東京にあるアルバータ州政府の駐日代表部は、福岡カナダ協会の法人会員です。アルバータ州はご存じの方も多いと思いますが、ロッキー山脈で有名な景勝の地が多く、バンフやカルガリーは改めてご紹介の必要もないと思います。バンフは、マリリン・モンロー主演の「帰らざる河」のロケーションでも有名です。ナイアガラとロッキーはカナダを旅行する者にとって避けて通れないところです。

このたび、アルバータ州の駐日代表部からアルバータ州の産業について、紹介記事を頂きましたので皆様にご披露いたします。



『アルバータ・アドバンテージ』

現在、アルバータ州の海外事務所は、日本をはじめ、香港、中国、韓国、台湾にあります。1970年に設立された在日事務所が最も規模が大きく、また、歴史のある事務所です。今年設立30周年を迎えます。

アルバータ州経済はカナダ経済全体の12パーセントを占め、現在カナダの中で最も活気があるとされており、また、当州の主要産業はエネルギー関連であるとの印象が強いと思われがちですが、実際には製造業、特に通信機器などのハイテク部門の成長が、現在著しいとされています。アルバータ州の貿易相手国の第1位はアメリカ、第2位が日本です。特に日本を含めアジアは、ビジネス習慣の違い、言葉の違いといった障壁がありますので、アルバータと日本の企業にきめ細かなサービス、最新の情報を提供する、私たち海外事務所の役割は依然として重要であると考えています。

在日事務所では、4人の商務官が農産物・食品、消費財・ヘルスケア・介護用品、建材・木材製品、エネルギー・石油化学製品および先端技術産業の各分野を担当し、アルバータ州の企業だけでなく、日本の企業に対しても貿易と投資に関する各種のサービスを提供しています。その一環として在日事務所のホームページを日本語と英語で設けていますが、日本側、アルバータ側からも好評です。

住宅分野におきましては、最近より高品質で付加価値の高い製品、価格競争力のある製品が求められるようになりました。そのような要望にアルバータ州の企業は十分応えることができると自負しています。その理由としては、天然資源が豊富なため電気・ガス等の公共料金が低廉であること、日本の消費税にあたる売上税がないカナダで唯一の州であり、全体的に低い税率であること、豊富な若年人口を有すること、教育水準が高いことなどがあげられます。アルバータ州で生産することにより高品質を維持しつつコストを抑えることが可能です。このような利点を私たちは「ア

ルバータ・アドバンテージ」と呼んでいます。つきましては、来る9月18日より25日に予定されております視察訪問ですが、是非ご参加頂きアルバータ州の視察訪問では、各産業をご覧いただき、またカルガリー或いはエドモントンにおきましては、業界の関係者とお会い頂く、またとない機会と存じますので、各業界のアルバータ・アドバンテージを実際にご覧になっていただければ幸甚に存じます。

今年の6月にはアルバータ州カルガリー市におきまして世界石油会議が開催されますので、ご興味ある方は是非当事務所までご連絡ください。在日事務所といたしましても東京だけでなく、日本の各地にてパートナーシップの構築により相互貿易に一層取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。尚、弊事務所に、ご質問、ご意見、並びにアルバータ州の産業についてのご質問等ございましたらご遠慮なく私共にご連絡ください。

カナダ・アルバータ州政府
駐日代表 ブラッド・クラーク



連絡先: カナダ・アルバータ州政府在日事務所
〒107-0052 東京都港区赤坂7丁目3-37
ブラス・カナダ3階
Tel: 03-3475-1171 Fax: 03-3470-3939
<http://www.altanet.or.jp/A/OJ.htm> (日本語)

カナダ表敬訪問

9月のカナダ表敬訪問は、まだ申し込みを受け付けております。かなり先のことでありますから御予定が立てにくいとは存じますが、ちょうど表敬訪問の頃はカナダでは最も良い季節で、航空機やホテルの予約が取りにくい時期ですから早々と参加申込をお願いしました。ぜひ御参加くださいますようお願い申し上げます。

次号では表敬訪問先のカナダ連邦政府とオタワの町についてご紹介する予定です。

ケベック州モンテベロの紹介

福岡カナダ協会設立一周年記念行事としてのカナダ表敬訪問の目的地のひとつであるケベック州、モンテベロをご紹介致します。2月にお送りしました表敬訪問の御案内と、「メイプル通信創刊号」にはモントリオールでのホテルは「シャトー・ロリエ」となっておりましたが、「シャトー・モンテベロ」に変更になりました。

シャトー・モンテベロ ケベックの由緒あるぜいたくなリゾート



カナダ・ケベック州モンテベロにある「世界最大のログ建築」として知られるシャトー・モンテベロは、モントリオールとオタワの中間で、オタワ川の河岸にある100平方マイルの敷地の中心に威容を誇っています。この伝説的なリゾートは、1930年に最初にオープンして以来、世界中から訪れるゲストを温かく丁寧にお迎えし、大自然の驚異と家庭的な安らぎを提供してきました。

シャトー・モンテベロが建てられている場所は、かつてラブティエ・ナシオンと呼ばれた個人の領有地(Seigneurie de La Petite-Nation)だったところです。この地に1930年、ログ建築の名人であったヴィクター・ナイマークが「セインジャリークラブ(Seigneurie Club)」としてシャトーを建造しました。このクラブには、カナダ元首相レスター・ピアソン、オランダのジュリアーナ王女、モナコのレーニエ大公とグレース公妃など、そうそうたるメンバーが名を連ねていました。ここが一般客を受け入れるようになったのは、カナディアン・パシフィック・ホテルがオーナーになった1970年からです。

「お客様は、シャトー・モンテベロに足を踏み入れた瞬間から、かつての壮大な時代に戻ったような体験ができます。ホテルが

文字通り職人たちの手で建てられ、もてなしという言葉が、ゆっくりくつろぎ、遊び、また仕事もできる豊かな環境を提供することを意味していた時代です」と、ワーナー・サブ総支配人は語ります。「お客様には、私たちの歴史の遺産を見出し、まわりの素晴らしい環境を堪能していただきたいと思います」。

シャトーは中央の3階建ての大きなアトリウムを中心として、新たに改装された50のスイートを含む211のゲストルームが6方向に延びています。アトリウムの真ん中には、石でできた巨大な六面の暖炉があり、季節を問わず、飲み物を楽しみながらくつろげる

場になっています。

シャトー・モンテベロが1981年の経済サミットの会場になったことはよく知られていますが、その他にも、カナダのジャン・クレチアン首相や米国のクリントン大統領のシェフなど、国を代表するシェフのグループであるル・クラブ・デ・シェフ・デ・シェフ(Le Club des Chefs des Chefs)の集まりにも使われ、素晴らしい環境、極上の食事、そして丁寧なサービスで国際的な評価を確立しています。



バンクーバー・スタンレー公園の紹介

今回の表敬訪問ではいくつかのコースにわかれて旅行することになっていますが、9月22日の夜バンクーバーのスタンレー公園の中のレストランで全員集まり交流会を行う予定になっております。



写真提供: フリテイッシュ・コロンビア州観光局

カナダ西海岸のゲートウェイとして日本人にはおなじみの都市バンクーバーは自然環境に恵まれた美しい町です。

そのバンクーバーのダウンタウンに隣接したスタンレーパークは、入江に突き出して広がる緑全体が森林と花壇に覆われ、10kmの自然の海岸線を有する広大な公園です。



写真提供: フリテイッシュ・コロンビア州観光局

修学旅行でカナダの魅力のとりこに

カナダの秋は最高でした。私が修学旅行でカナダに行ったのは1998年、中学3年生の10月でした。とても心待ちにしていたので、ガイドブックを何度もチェックし、荷造りを何度もやり直し、出発までは期待と不安でワクワクドキドキのし通しでした。

トロントの上空から見た景色は、赤や黄色に色づいた紅葉がはてしなく広がっていました。私が想像していた美しさをはるかに上回り、今だから目にしたことかないほどの雄大な自然でした。

水煙の中に虹がキラキラと輝いていたナイアガラの滝は圧倒されるほどのスケールで、船に乗って滝のすぐ下まで行くとい込まれそうでした。太陽が霧を吸い込み、それが雲になっていくのを見て、不思議な気持ちになりました。

ビーンと張りつめた冷たい空気のバンフからは、雪化粧をしたロッキー山脈が見渡せ、自然の迫力がせまってくるようで、樹の香りがするような冷気を心行くまで楽しんできました。

そして、一番思い出に残っているのは、初めて経験したホームステイです。私のホストファミリーは、お父さんがエンジニア、お母さんはリハビリ師、私と同年の女の子と、9歳の弟。その家庭は猫が大好きで、真っ黒の母猫と、その子猫が4匹もいました。

トロントから少し離れた田舎町で、1秒が長く感じられるくらい、時間もすべての風景もゆっくりと流れていくようなのんびりしたところでした。

家族みんな温かく私のことを受け入れてくれ、また、わかり易いように簡単な英語で話してくれたり、かぼちゃでハロウィーンのお化けの作り方を教えてくれたり、ハイキングをしながらその町について教えてくれたりと、貴重な体験をたくさんさせ

てくれました。このホストファミリーのことは生涯忘れることはできません。

現地の学校でも私たちを歓迎してくれました。日本でいうと中学校と高校が一緒になったような公立の学校でした。私の学校と違い、服装も自由で校則もないと聞き、少し羨ましく感じました。当然、生徒たちはのびのびと学校生活を楽しんでいるようでした。



折り紙で花や鶴や動物などを折ってあげると、とても興味を持ってくれました。ハッピーを着せて一緒に盆踊りもしました。言葉がうまく通じなくても、互いの文化を認め、受け入れることができれば、心は通じるということを実感することができました。その学校の生徒たちが、私たちのために1か月以上も前からポスターを制作してくれたり、町の写真を撮りそれで地図を作ってくれたりして、私たちを歓迎してくれました。私たちのことはローカルニュースで紹介されました。自分たちがこんなに温かく迎えてもらえるとは思ってもみませんでした。

私は7月からカナダへ留学する予定です。

修学旅行で得た感激が私をカナダに留学する決心をさせたのです。修学旅行で文化の違う国の人との交流のために英語の必要性を感じたことと、おらかな人間性や自然そのままの中で暮らしたいと思ったからです。そして将来このような経験を生かして、日本とカナダの架けになりたいと思います。

田所奈緒子

注: 田所奈緒子さんは、当協会会員の田所整形外科クリニック(福岡市西区)産科/田所先生二階表先生の長女です。

カナダ表敬訪問の実施について

前号でもお知らせしましたが、カナダ表敬訪問について、日程などをもう一度ご紹介します。ご多忙中とは存じますが、ご検討の上、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。詳細につきましては、下記の事務局までお問い合わせください。

■実施時期

平成12年9月18日(月)以降…各コースで出発日、日数が異なります。

■主な訪問先

- オタワ(表敬訪問)～ケベック～ナイアガラ～バンクーバー
- ナイアガラ～カナディアンロッキー～バンクーバー
- カナディアンロッキー～ビクトリア～バンクーバー
- ビクトリア・バンクーバー
- バンクーバー(フリープラン)



留学相談会 ～カナダ～

留学に関心のある皆様に、情報提供を目的とした相談会を行います。

参加料無料ですので、お気軽にご参加ください。

開催日：平成12年6月3日(土)

場所：(財)福岡県国際交流センター 「こくさいひろば」
(福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡3F)

内容：①説明会/午後1時～2時30分(定員45名)

カナダの教育制度、留学事情(大学、カレッジ、高校、語学学校への留学)等についての紹介

②個人相談/午後3時～6時(定員10名)※電話での予約申し込みが必要です。

主催：(財)福岡県国際交流センター カナダ教育連盟

(バンクーバーに本部、東京に日本代表事務所を置く非営利団体です。詳しいことは当協会に問い合わせるか、ホームページをご覧ください。

<http://www.gol.com/cea/page/massage.htm>

申し込み、お問い合わせは、「こくさいひろば」へ
TEL092-725-9201(火～日：午前10時～午後6時30分)



カナダ・ワインセミナー

日時：平成12年6月14日(水)

14:00～18:00

会場：未定(福岡市内ホテル)

主催：在福岡カナダ領事館

共催：福岡市、福岡商工会議所、
福岡貿易会、
ジェトロ福岡

お問い合わせは
TEL092-752-6055



事務局から

「メイプル通信」第2号をお届け致します。福岡カナダ協会も新しい会計年度を迎え、近いうちに、理事会・総会を開催する予定です。日程が決まり次第、会員の皆様にお知らせ致します。

福岡カナダ協会の会員の中にもカナダ留学のお世話をする方々がいっぱいます。ご希望の方はお申し出ください。ご紹介致します。

カナダ領事館から、カナダに関する資料を頂いてます。ご希望の方は下記の事務局までご連絡ください。

ご寄稿をお待ちしています。カナダ旅行の思い出、そのほかカナダに関することなら何でも結構です。また、ご意見・ご要望がございましたら事務局までお寄せください。

原稿は郵送・FAXでお願いします。ご持参いただければ大歓迎です。